

シュリンキングシティ日米研究交流セミナー名古屋 2018 ご案内

主催

シュリンキングシティ研究会

ねらい

人口減少が都市に与える空間変容、コミュニティや生活の質など社会的持続性への影響、それらに対する政策、計画、デザインに関して、アメリカと日本の研究者から報告してもらい、これによって、両国の独自性・特性と共通性を理解するとともに、我が国の人口減少都市の将来、対応策について、理解を深める。研究者、専門家、行政関係者、学生、市民などを対象とする。

会場：名城大学ナゴヤドーム前キャンパス南館、名古屋市東区矢田南 4-102-9

アクセス：地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田」、JR 中央線「大曽根」

9月22日(土) 13:30～17:00 DS401 教室

研究集会 「日本とアメリカのシュリンキングシティ：実態・政策・マネジメント」

日本とアメリカのシュリンキングシティに関する報告を4名の研究者から行ってもらい、それを元に討議を行います。使用言語は日本語。参加費無料、事前に参加申し込み下さい。

報告者：野澤千絵(東洋大学教授)、黒瀬武史(九州大学大学院准教授)、吉武俊一郎(株式会社吉武都市総合研究所代表取締役)、矢吹剣一(東京大学特任研究員、アーバンデザインセンター坂井ディレクター)。ディスカッサー(吉田友彦・立命館大学教授、藤井康幸・静岡文化芸術大学教授) 司会：服部圭郎(龍谷大学教授)

9月23日(日) 13:00～17:00 DS ホール(DS101)

講演とシンポジウム 「シュリンキングシティを超えてー日本とアメリカの人口減少都市の実態・政策・対応ー」

アラン・マラーク (センター・フォー・コミュニティ・プログレス/シニアフェロー)

テリー・シュワルツ (ケント州立大学クリーブランド・アーバン・デザイン・コラボレイティブ/ディレクター)

饗庭 伸 (首都大学東京教授)、 浅野純一郎 (豊橋技術科学大学大学院教授)

司会：藤井康幸(静岡文化芸術大学教授)、服部圭郎(龍谷大学教授)

アメリカと日本からそれぞれ2名の専門家に参加してもらい、講演とパネルディスカッションを行います。同時通訳付き、参加費無料、事前に参加申し込み下さい。

後援：都市住宅学会 日本都市計画学会 計画行政学会 都市環境デザイン会議、(以下依頼中) 日本建築学会東海支部

なお、本セミナーは、科研費基盤研究B助成研究活動の一環で実施し、大林財団、大幸財団の支援を得ています。

インターネットからの申し込み：<https://goo.gl/forms/hFKxRDcuWOx3kwKI3>



問い合わせ：海道清信(名城大学都市情報学部) shrinkingcitysymposium@gmail.com